

ぱれっと

Palette

8

2020 August
vol.240

合併
20周年
特集号

「総代会報告」 第20回通常総代会

農を担う
桃農家 小山俊幸さん

芳賀地区……………10ページ

<https://www.ja-okayama.or.jp/>

JA岡山は、組合員募集中です!

耕そう、大地と地域の未来。





各議案を審議する総代

第20回通常総代会 全議案を可決承認

当JAは6月29日、岡山市農業協同組合本所7階ホールで第20回通常総代会を開催しました。

本年度は、新型コロナウイルス感染症への集団感染防止の観点から、行政等の指導に従い総代会の事前説明会を中止。また、総代会につきましても書面による議決権の行使を基本とし、総代の皆さまご協力のもと、総代数492人のうち473人（本人出席15人、代理人出席0人、書面出席458人）のご出席をいただきました。

総代会では「令和元年度事業報告及び剰余金処分案の承認」、「令和2年度事業計画の設定」、「定款、定款附属書総代選挙規程の一部変更」、「農地利用集積円滑化事業規程の廃止」、「経営管理委員、理事、監事の報酬の決定」、「退任理事に対する退職慰労金の支給」の全7議案が審議され、全て原案通り承認されました。次ページからは令和元年度事業報告の要約、主な事業の活動内容と取組結果についてご報告させていただきます。



あいさつする宮武博経営管理委員会会長



議長団の大森勇二総代（西大寺）と野上紀一総代（一宮）

令和元年度事業報告／要約版

主な事業の活動内容と取組結果についてご報告させていただきます。

令和元年度は自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現に向けて、ご承認いただいた事業計画に基づき各事業に取り組みました。

その結果、信用事業・共済事業では計画どおりの事業展開となりましたが、天候不順による販売高減少、新型コロナウイルスの感染拡大による自粛要請や経済活動の制約で一部の事業に影響を受けたものの、事業利益・経常利益ともに計画に対して上回る結果となりました。

また、事業基盤の強化を図るため、組合利用者や地域住民に対し、准組合員加入を推進しました。

損益計算書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

単位:千円

科目	金額	科目	金額
事業総利益	8,238,301	事業外収益	794,003
信用事業総利益	4,124,410	事業外費用	171,731
共済事業総利益	2,456,624	経常利益	1,161,186
購買事業総利益	519,088	特別利益	158,656
販売事業総利益	431,592	特別損失	226,022
保管事業総利益	68,267	税引前当期利益	1,093,821
利用事業総利益	493,246	法人税等合計	186,904
宅地等供給事業総利益	160,826	当期剰余金	906,917
旅行事業総利益	18,498	当期首繰越剰余金	466,025
福祉事業総損失	366	リスク管理対応積立金目的取崩額	246,640
農用地利用調整事業総利益	4,092	営農振興対策積立金目的取崩額	17,355
指導事業収支差額	△37,976	土地再評価差額金取崩額	2,420
事業管理費	7,699,387	当期末処分剰余金	1,639,356
人件費	5,041,089		
業務費	910,722		
諸税負担金	264,154		
施設費	1,409,351		
その他事業管理費	74,070		
事業利益	538,914		

剰余金処分

単位:千円

科目	金額
1.当期末処分剰余金	1,639,356
2.剰余金処分額	1,115,507
(1)利益準備金	600,000
(2)任意積立金	318,797
(うちリスク管理対応積立金)	214,034
(うち施設整備強化積立金)	30,000
(うち指導事業強化積立金)	10,000
(うち営農振興対策積立金)	17,355
(うち電算情報システム開発積立金)	10,000
(うち宅地等供給事業積立金)	37,409
(3)出資配当金	196,710
3.次期繰越剰余金	523,849

(注)

- 出資配当は年2.0%の割合です。ただし、出資配当の対象は当組合定款第76条第4項の規定によります。
- 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用(いわゆる教育情報繰越金)に充てるための繰越額46,000千円が含まれています。
- 損益計算書および剰余金処分の記載金額は、千円未満を四捨五入して表示しています。そのため、内訳金額を合計した金額が合計欄記載の金額と一致しない場合があります。

指導事業

【営農活動】

営農指導機能の強化・充実を図るとともに、農畜産物の生産振興・意欲ある担い手経営体の育成・支援による産地の維持・発展に取り組みました。

① 営農指導

本所・営農センター間の営農活動にかかる情報共有と連携を図るとともに、「担い手農家」等への訪問活動強化、麦の土壤診断による適正な土づくり指導・「営農振興支援事業」の活用・栽培講習会開催・農業経営管理の支援などに取り組みました。

② 農畜産物の生産振興

主要品種である「アケボノ」、「ヒノヒカリ」等について、低コスト生産の確立に向けた肥料試験・野菜の作付推進や作付拡大に取り組みました。

③ 育成・支援・産地拡充

「就農トータルサポート事業」等への取り組み・もも農業塾、

ぶどう農業塾をはじめとする各種栽培講習会による農業生産基盤の底辺拡大に取り組みました。

【生活活動】

「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指して、女性部組織等と連携しながら、健診等の生活文化活動や食農教育に取り組みました。

【相談活動】

税理士による税務相談会や所得税および消費税の確定申告支援を実施するなど、JA岡山青色申告会を基軸とした税務相談活動に取り組みました。

【広報活動】

広報誌「ぱれっと」、「あぐろぐ OKAYAMA」、「笑味ちゃん天気予報」、ホームページ等への情報掲載など、様々な方法でJA事業や農業・生活文化活動への取り組みについて情報発信に努めました。

信用事業

地域の皆さまとの結びつきを強めて将来にわたりお取引をいた

だくため、総合金融サービスの

提供を通じた組合員・利用者接点の再構築に取り組み、お客様満足度を高める事業活動を行いました。

【サービスの強化】

組合員・利用者の皆さまの視点に立った相談機能の充実に努め、年金相談会、ローン相談会、相続セミナーを開催しました。

【個人貯金・貸出金の増強】

提案活動に加え、年金友の会を通じて年金振込指定の地域シェア向上に取り組みました。世代別の資金ニーズに応じた商品提供と個人ローンの伸長に取り組みました。

【農業資金への対応】

支所と営農センターが連携し、農業資金需要に対して各種制度資金・担い手対象資金により的確な資金対応に取り組みました。

共済事業

組合員・利用者の皆さまの「安心」「満足」を高めるため、保障

点検を基軸とした活動に取り組みました。

【相談・普及活動】

「3Q訪問活動」・「あんしんチェック」による加入内容説明・保障点検を実施し、ニーズに沿った保障提案に努めました。

【審査・査定・保全業務】

新契約引受、共済金の支払処理の迅速化・適正化に努め、契約管理に取り組みました。

【広報活動】

「交通安全教室」、「書道・交通安全ポスターコンクール」、「アンパンマン交通安全キャラバン」等、皆さまとのふれあいを通じて、JA共済のイメージアップを図りました。

購買事業

安価で高品質の15^キ袋のプライベート肥料および大型規格農薬や省力型商品の普及拡大を図るとともに、魅力ある価格設定に努め、予約購買を基軸とした安定供給に取り組みました。

販売事業

また、住宅リフォーム・シロアリ防除・電化製品・寝具・石碑など、皆さまの生活がより豊かになる提案を行いました。

生産から販売までをキーワードに安全・安心な農産物の安定供給体制確立を基本とし、農産物の販路拡大・販売手法の多様化・品種の集約等に努めるとともに、新たな加工品の開発・販売や各種PR活動、農業者の所得増大に取り組みました。

保管事業

準低温・低温倉庫に集約保管を行い、倉庫の効率的な運用と適正な保管管理に努めました。

利用事業

【大型共同乾燥調製施設】

施設の効率的な運営を目指し、生粉移送による完全サテライト化を2施設で実施しました。

【共同利用施設】

育苗施設の有効活用として、水稻苗・野菜苗の生産供給を行いました。

【農産物加工施設】

大豆テンペ・味噌・米粉パン・惣菜等、地元の農産物を生かした農産加工を行うとともに、令和2年6月から義務化が開始される「HACCP（ハサップ）」に対応するため衛生管理、栄養成分表示に関する研修会を開催しました。

宅地等供給事業

農地等売買の仲介や組合員の資産活用としての賃貸住宅・店舗の建設等の斡旋に取り組みました。

旅行事業

岡山空港発の定期便を使った国内各方面への旅行と、チャーター機を利用した質の高い旅行を実施しました。

高齢者福祉事業

助け合いの会「かがやき」協力会員により、ミニデイサービス・サロン・地域の茶の間「みんなのお家（うち）」を開催し、生きがいと交流の場の提供に取り組みました。

農用地利用調整事業

耕作放棄地の発生防止ならびに担い手への農地集積促進のため、岡山県農地中間管理機構等との連携を図りながら「農地利用集積円滑化事業」や「農作業受委託事業」に取り組みました。

管理・経営等

不祥事再発防止、公認会計士監査への対応として内部統制の整備を進め、法令等遵守態勢、内部けん制体制、内部監査体制の実効性向上および強化を図りました。

また、施設の効率的な運用に努



総代会資料等

本記事では概略をご報告させていただきました。詳細については、各支所・営農センターへ備え置いております「通常総代会資料」および「ディスクロージャー誌」または、JA岡山ホームページにて公開しております「ディスクロージャー資料」をご確認ください。



地域の皆さまに支えられて20年！

20周年のありがとう第2弾！
生産者の皆さまからメッセージをいただきました。

藤田宮農センター



西大寺野菜部会 河本清志さん



米麦農家 光岡正義さん

西大寺宮農センター



西大寺ぶどう部会 田中永太郎 部会長



上道ぶどう部会 石原正 部会長



西大寺いちご部会 那須敬策 部会長



藤田朝日ブランド米生産部会 岸本佳明 部会長



藤田施設茄子部会 友杉茂 部会長



吉備葉菜部会 佐藤豪温 部会長



興除施設茄子部会 植田豊 部会長



南ぶどう部会 藤井貞宏さん



地域によろこびの種をまく



JA岡山は皆さまのおかげで合併20周年を迎える事ができました
これからも地域によろこびの種をまき続けます



JA岡山のくだものが抽選で当たるプレゼントキャンペーンです

例:料理を始める、貯金をする、ジョギングを始める…
これからの目標達成のために私たちと一緒に種まきをしませんか?
種まきのエピソードとキーワードを添えてお送りください。
※エピソードは編集し広報誌・SNS等で紹介させていただく場合がございます。

□ハガキでの応募方法

右記の①～⑦をハガキに記入し、宛先まで送付ください。

宛先

〒700-8535
岡山市北区大供表町1-1
JA岡山20周年ありがとうキャンペーン係宛

□応募フォームからの応募方法

右記QRコードより応募ください。



- ①キーワード「JA 岡山と種まき1」
- ②管轄支所
- ③住所
- ④氏名
- ⑤年齢
- ⑥電話番号
- ⑦種まきに関するエピソード



第1弾応募締切: 8月末まで

次号 予告

たくさんのあたたかいメッセージをありがとうございました。
ホームページでは20周年特設ページも公開していますので、ぜひご覧ください。
ばれっと9月号ではTAC指導員の課題実践報告を掲載予定です。



みつ山の芋部会 市川明弘 部会長

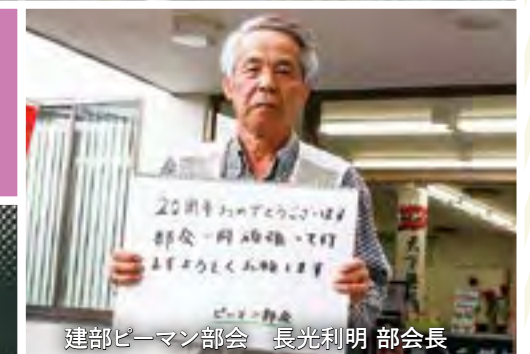


加茂川桃生産部会

建部営農センター



加茂川花卉生産部会



建部ビーマン部会 長光利明 部会長



建部きゅうり部会 田淵武士 部会長



加茂川ぶどう生産部会

おいしい桃を消費者に届け、国内需要を増やしたい

小山 俊幸さん

芳賀地区：桃農家

「こやま としゆき」

昭和55年生まれ。一宮選果場果樹部会所属。桃7品種、ブドウ3品種、水稻を経営。祖父母、父母、妻、娘2人、息子の9人家族。趣味は陶芸。座右の銘は「人事を尽くして天命を待つ」。



袋掛けをする小山さん

ろから父に習って収穫や箱折りなどの手伝いをしてきました。大学時代は県外に住んでいましたが、農繁期は手伝いに帰省していました。家族の体調を踏まえいずれは継がないといけないと思っており、昨年父から経営移譲し、就農しました。

―農業を始めてからは―

最初は農業大学校に通い、講習会や果樹誌などから情報を集め、父に教わりながら始めました。

農業は天候など、自分だけではどうしようもできない問題もあるのですが、いつ何が起きても最善の策を取れるよう基本に忠実にを行っています。常に一つのことにとらわれず、視野を広く客観的に物事を見ることができるよう作業を行っています。

―楽しい点は―

物を長持ちして使えるよう農

業機械の手入れを必ずしています。父を見習ったということもありますが、もともと物づくりが好きで、農業でも作れるものは手づくりし、直せるものは直してコスト削減を図っています。

国内需要を増やしたい

―今後の抱負は―

「清水白桃」の収量を維持しながら出荷ピークの分散を考えています。前後の出荷時期となる品種「白鳳」と「白麗」を増やし、安定生産・安定出荷を目指します。

また、桃の国内需要を増やしたいです。贈答品としての需要だけでなく、特に若い人に「一宮の桃はおいしい」と知ってもらいたいのです。多くの人に買ってもらいた

き、家庭で消費してもらえらるようなおいしい桃づくりを頑張りたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



長く使えるよう手入れを怠りません



防蛾灯も農業資材などを組み合わせて作りました



野菜

ニンジン
は
トップクラスの
ヘルシー野菜です



営農部指導課
宮本 大輔

●ニンジンの栽培

アフガニスタン原産といわれるセリ科の野菜で日本では古くから栽培されており、カロテンが多く含まれトップクラスのヘルシー野菜です。栽培時期は春播きと夏播きに分かれ播種時期に合った品種を選びます(資料1)。

●畑の準備

できるだけ早い時期に10平方メートルあたり堆肥25kg、苦土石灰等1kg、施用します。播種2週間前に10平方メートルあたり野菜いちばん等1.5kgを土とよく混ぜます。畝幅は1条植なら50cm、60cm、2条植なら1.1m、1.3mとします(資料2)。

花き

ジャーマンアイリスは
欧米ではレインボー
フラワーと呼ばれます



営農部指導課
中川 雄一

各種アヤメ類の花が終わった時期、今回はジャーマンアイリスについて。花言葉は「情熱」「使者」「素晴らしい出会い」など、神々の使者となつて天界と地界を往復する虹の橋を架けた虹の女神「イリス」にちなむものが多いようです。神話や豊富な花色からか、欧米では「レインボーフラワー」と呼びます。

●生態的特性

多湿と酸性土壌を嫌い、通気と日照を好みます。極端に乾燥する場合以外灌水は不要で、いくらかの土壌養分があれば、数年間植えっぱなしでもよく開花します。

●株分け・植付け

・植付け後3年程度で植え替え、混み過ぎを防止します。梅雨期に傷つけると腐りやす

●播種

雨の後か、播種前日に播種溝へ灌水をして土を湿らせます。播種はすじ播きとし5cm程度薄く覆土を行い、平クワ等で軽く鎮圧を行います。播種後は、乾燥防止のためモミ殻の散布や不織布のべた掛けにより発芽揃いがよくあります。覆土が厚すぎると発芽不良の原因となります。

●間引き

生育にあわせて2回行います。ニンジンの品質を大きく左右する作業なので確実にいきましょう。1回目は本葉2〜3枚のころに混み合っているところを行い、株間2〜3cmにします。2回目は本葉6枚のころに株間10〜13cmにします。生育がばらばらしている大小の株を取り除きます。成長が進みすぎている株は「股ニンジン」になりやすいです(資料3)。

●灌水

播種後の乾燥は発芽揃いが悪くなるので、乾燥に注意しながら適度に灌水を行います。播種後50日ごろに強い乾燥にあうと割れることがあります。

●追肥・中耕と土寄せ

間引きのたびに除草をかねて中耕と追肥を連続して行い、土が葉の生長点にかからないようにします。追肥は1回につき10平方メートルあたり野菜いちばん等0.5kgを2回行います(資料4)。

●収穫

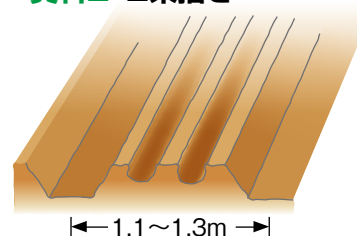
播種後5寸ニンジンで110〜120日、金時等で120〜140日で収穫できます。収穫適期の目安は、ニンジンの株元が地割れしたところに肥大の具合を確認します。根の部分の重量150〜200g程度が収穫適期です。収穫が遅れると裂根が多くなったり組織が硬くなりやすいため注意します(資料5)。

資料1 ニンジンの作型と品種

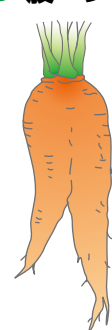
月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	品種
春播き	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	向陽二号
夏播き						●	●	●	●	●	●	●	向陽二号 金時

● 播種 □ 収穫

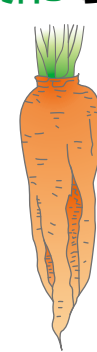
資料2 2条播き



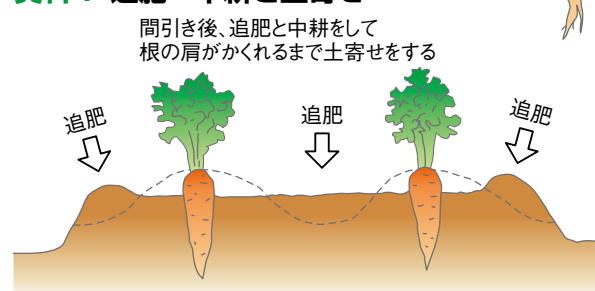
資料3 股ニンジン



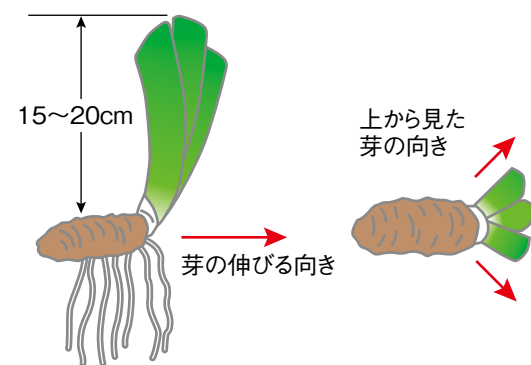
資料5 裂根



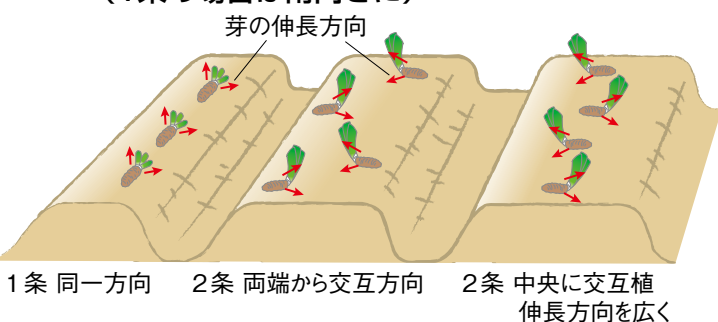
資料4 追肥・中耕と土寄せ



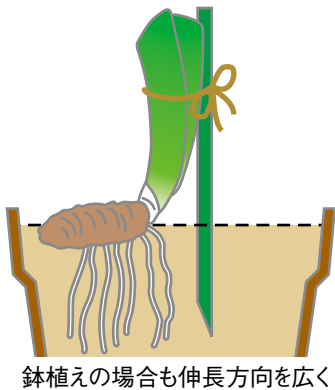
資料6 株分け後の葉・根の調整と芽の伸長方向



資料7 畝への植付けの例 (1条の場合は南向きに)



資料8 植付けの深さと支柱 (自立できれば不要)



●管理

除草・雑草が茂ると通気不良になって病害が出やすくなります。早めに抜き取りましょう。枯葉とり・新葉が次々とする除して綺麗にします。施肥・地力だけでも元気に育ちますが、2年目以降、春の葉が伸び出したところに緩効性肥料を少量、畝面に施用する程度です。

に支柱を立てて誘引します(資料8)。

●軟腐病

夏空気が乾燥して雨の少ない地中海性気候の原産なので、夏が高温で雨の多い日本は苦手、

大敵の軟腐病対策は排水と通気の確保です。過剰施肥も発病を招きます。万一球根や葉が腐っていやな臭いがしていたら、すぐにこっそり抜き取って処分します。

鉢植えの場合も伸長方向を広く

果樹

8月は色々な
果実の収穫
時期です



營農部指導課
小野 智寛

8月には桃やブドウ、梨、イチジク、ブルーベリー等の夏果実の収穫時期です。もうすぐ一般向け果樹苗木の注文も始まりです。次号のお知らせに掲載予定ですが、今年から果樹苗木の注文が回覧ではなくなっておりますので、詳しくは、お近くの営農センターへお問い合わせください。今月号では果樹苗木を購入する際に気を付けなければならぬ点を記述致しますので参考にしてください。

● 苗木の選び方について

果樹は一度植えてしまうと容易に移動させることができません。植えたい品種がどういった特性を持っているかをよく確かめてから購入するようにしましょう。

● 品種を読み解くためのキーワード

果樹の苗木には1本だけでは

- ・果実がならないものや、雄苗雌苗が必要な場合があります。
- ・花粉の有無と自家不和合性

一般に、開花した花が結実するためには、花粉がめしべの柱頭につき、そこで発芽して花粉管を伸ばし、受精しなければなりません。モモやブドウの大部分の品種は、同一品種の花粉で受精することができません。このような性質を自家和合性といいます。反対に自家不和合性というものがあり、リンゴ、ナシ、サクランボ、スモモ、ウメ、クリなどの、多くの果樹では、同一品種の花粉では受精ができない、でも果実があまりとれない場合があります（資料9）。そのため、果実を安定して収穫するには別の品種を混植する必要があります。

また、品種によっては花粉の量が少ない、もともと花粉をもたないため、単体では受精できない品種もあります。この場合も別品種の受粉樹が必要になります。

• 果皮 • 剥皮

皮が薄いとむきやすく、皮ごと食べるができます。ブドウでは近年人気の「シャインマスカット」も果皮が薄く皮ごと食べられる品種です。手間がか

資料9 クリと受粉樹（品種一覧表より抜粋）

[illegible]

資料10 はなやか中央店（岡山市北区大供表町4-5）



資料11 季節ごとの果物



からず食べやすいことは大きなセールスポイントです。

・食味・風味・外観はどうか

冒頭で記述したように、果樹は一度植え付けてしまうと数年〜数十年は場所をとります。果実を着けるのも、数年はかかり

ますので、植え替えて、翌年すぐに果実が食べられるわけでは
ありません。果実の食味や風味
は実際に食べてみないとわから
ないため、農産物直売所¹⁰はな
やか¹¹（資料10、11）などで季節
ごとに販売されている気になる
果物を実際に購入して、食べて
みて、目標とするものを見つけ
てから苗木を購入されることを
おすすめします。

最後に苗木の注文書に付随する一般果樹苗木品種一覧表には、果樹の特性や受粉樹の例なども記載されておりますので、よく読んでいただいて、失敗のないたのしい家庭園芸にしましょう。

塩漬けスペアリブ のポトフ



作り方

- (1) スペアリブは、材料外の塩10g・砂糖小さじ1を全体に擦り込み一晩置く。
- (2) (1) を水洗いしてよく水気を拭き取り、鍋にスペアリブ、水、昆布、粒こしょうを入れ中火にかけ、沸騰したら昆布を取り出し弱火にしてあくを取りながら1時間ほど煮込む。
- (3) 鍋に小分けにしたブロッコリー（芯の部分も）、半分に切ったジャガイモを入れてさらに10分ほど煮込み、塩で味を調え出来上がり。

レシピ提供／永井智一（ながいとまかず）
茨城県笠間市にある「天晴（旧キッチン晴人）」オーナーシェフ



材料（2人分）

豚スペアリブ …………… 4本
ブロッコリー …………… 1株
ジャガイモ（ゆでた物） …………… 小2個
水 …………… 7と1/2カップ
昆布 …………… 1枚
粒こしょう …………… 小さじ1
塩 …………… 適宜

Aglogram

あぐろ
グラム

編集後記

広報誌「ぱれっと」 20周年!

いつも広報誌「ぱれっと」をご愛読いただきありがとうございます。このたび、JA岡山は合併から20周年をむかえました。合わせて「ぱれっと」も20周年を迎えます。

写真は2000年の創刊号です。当時は表紙で管内の農産物を紹介し、紙面は2色刷りでした。「農を担う」や「楽しい家庭園芸」なども当時から続く人気コーナーです。

「ぱれっと」は絵具を混ぜ合わせる板から名づけ「特色ある地域の様々な情報をうまく調和させながら、地域とともに歩む」という願いを込めて作られました。今後も皆さまとともに地域に密着した紙面づくりを目指して試行錯誤してまいります。



編集担当 住吉 沙弥香